



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 総合型地域スポーツクラブ数 |       |       |       | H29年度  |   |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況 | 活動概要  |
|--|---------------|-------|-------|-------|--------|---|-------------|----------------------|------|---|
| 実績値  | H25年度         | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  | 62            | 63    | 63    | 63    | 64     | 63  | 100.0%      | 4,850                | 順調   | ・クラブアドバイザーによるクラブ訪問を通じた助言・指導(93件)<br>・クラブ研修会及び担当者会議(51人参加)<br>・大学生向け普及啓発活動(3大学、119名参加)<br>・市町村とクラブの連携を図るため、市町村訪問を実施し、クラブ関係者を交えた意見交換会を開催(13市町村) |
| 活動指標名  | —             |       |       |       | H29年度  |   |             |                      |      |   |
| 実績値  | H25年度         | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  |               |       |       |       |        |   |             |                      |      | 進捗状況の判定根拠と取組の効果<br><br>総合型地域スポーツクラブ数について、平成29年度計画値を63クラブとしていたが、クラブアドバイザーによる助言・指導等を実施した結果、平成29年度末で64クラブとなった。                                   |
| 活動指標名  | —             |       |       |       | H29年度  |   |             |                      |      |   |
| 実績値  | H25年度         | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  |               |       |       |       |        |   |             |                      |      |   |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |               |       |       |       |        |   |             |                      |      |   |
| 平成29年度の取組改善案   |               |       |       |       |        | 反映状況  |             |                      |      |   |
| ①各総合型クラブの状況に応じたクラブアドバイザー等による効果的な指導・助言等が行えるよう、総合型クラブや市町村等へのヒアリング、意見交換などを実施し、総合型クラブの現状と課題等を把握・整理する。<br><br>②また、地域密着型の活動主体である総合型クラブが地域の中で自主的に活動できるよう、市町村や関係団体等との連携を強化し、地域主体で総合型クラブを活用した健康増進等が行える環境整備を図っていく。 |               |       |       |       |        | ①県内クラブの現状を把握するため、クラブ訪問を強化し、クラブの現状と課題等を把握・整理した。(訪問件数93件)(前年度から20件増加)<br><br>②地域主体で総合型クラブを活用した健康増進等を図る環境整備を図るため、平成29年度から新たに市町村訪問を実施。13市町村において、クラブ関係者を交えた意見交換会を開催した。 |             |                      |      |   |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

・地域主体で総合型クラブを活用した健康増進等が行うための、環境整備が十分とは言えない状況。

##### ○外部環境の変化

・総合型クラブはtotoの助成金により創設・育成が図られているが、助成期間が5年となっており、助成終了後の活動が停滞する状況が見られる。また、活動場所、指導者、専従スタッフ等が不十分で、活動が十分に行えない状況にある。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・平成29年度で把握した各クラブの状況を踏まえ、運営形態、予算規模等に応じた効果的な助言・指導を実施していく必要がある。  
・地域における総合型クラブの位置づけを明確にし、地域とともに活動していける環境整備を図るため、引き続き地域の市町村や関係団体等との連携強化を図っていく必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・クラブの円滑な運営に資するため、クラブアドバイザーによるクラブ訪問を通じ、他クラブの成功事例や行政連携事例などを含めた助言・指導を実施していく。  
・地域密着型の活動主体である総合型クラブが地域の中で自主的に活動できるよう、市町村行政担当者及びクラブ関係者を交えた意見交換会開催等を通じ、市町村や関係団体等との連携を強化し、地域主体で総合型クラブを活用した健康増進等が行える環境整備を図っていく。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | スポレク祭参加者数 |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計  | 進捗状況  | 活動概要 |
|--|-----------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|---|-------|------|
| 実績値  | H25年度     | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |   |       |      |
|  |           | 9,444 | 9,034 | 9,407 | 9,582  | 9,200  | 10,000      | 92.0%   | 5,105 | 順調   |
| 活動指標名  | —         |       |       |       | H29年度  |  |             |   |       |      |
| 実績値  | H25年度     | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |   |       |      |
|  |           |       |       |       |        |  |             | 進捗状況の判定根拠と取組の効果<br><br>スポレク祭参加者数1万人を目標に、平成29年度は広報活動を強化した結果、参加者は9,200人となった。<br>※尚、台風により中止となった4大会の参加見込数等を加味した場合は、10,146人。 |       |      |
| 活動指標名  | —         |       |       |       | H29年度  |  |             |   |       |      |
| 実績値  | H25年度     | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |   |       |      |
|  |           |       |       |       |        |  |             |   |       |      |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |           |       |       |       |        |  |             |   |       |      |
| 平成29年度の取組改善案   |           |       |       |       |        | 反映状況   |             |   |       |      |
| ①スポレク祭は、沖縄県体育協会、沖縄県レクリエーション協会等と連携し、参加形態の工夫改善を行うとともに、広報活動の強化を行う。<br><br>②県立学校開放事業は、学校側に対して事業に関する説明を十分に行うとともに、総合型クラブ等のニーズ把握を行っていく。 |           |       |       |       |        | ①スポレク祭については、より多くの県民に参加してもらうよう広報活動を強化している。<br>・県内577箇所(ポスター660枚、リーフレット4,924枚)を配布<br>(H28年度参考: 県内43箇所、ポスター129枚、リーフレット1,290枚)<br><br>②学校開放事業については、県立学校76校に、事業の周知及び意向調査を実施。部活動や学校行事等により、平成28年度実施校のうち2校が実施をとりやめたが、地域のスポーツ団体からの要望等を踏まえ、開放に前向きな学校と個別に調整を行った結果、新たに2校が開放することとなった。 |             |   |       |      |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

- ・スポレク祭は、H20年度大会(第11回大会)から参加者が1万人を下回っている状況。
- ・県立学校体育施設開放事業は、本事業の趣旨及び内容について県立学校側や総合型クラブ等への周知が十分とは言えない状況。

##### ○外部環境の変化

- ・スポレク祭は、台風等により中止となる種目があり、参加者減となっている場合がある。
- ・学校開放事業については、県立学校側が部活動や学校運営に対する影響を危惧し、開放に慎重となっている場合がある。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・スポレク祭は、県民が気軽に参加できるよう体験型の種目を増やすことや、引き続き広報活動を強化することを通じ、参加者増を図っていく。また、より多くの大会が開催できるよう台風等による影響を考慮し、大会開催期間の設定を検討する。
- ・県立学校体育施設開放事業は、本事業の趣旨及び内容について県立学校側や総合型クラブ等への周知を強化していくことや、利用団体と県立学校のマッチングを図って行く必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

- ・スポレク祭は、体験型の種目を増やすよう参加団体に働きかけるとともに、マスコミ等を通じ多くの県民へ周知し参加者増を図っていく。また、台風による延期開催を想定し、大会開催期間を昨年度より延長して設定する。
- ・県立学校開放事業の周知を兼ねた県立学校への意向調査を実施することや総合型クラブ研修会等での周知を行うとともに、利用団体と県立学校の間に入り丁寧に調整を行うことで開放校の増加を図っていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |  |                  |         |                   |    |
|----------|--|------------------|---------|-------------------|----|
| 施策展開     | 2-(1)-イ  | 「スポーツアイランド沖縄」の形成 | 施策      | ①生涯スポーツ・競技スポーツの振興 |    |
|          |  |                  | 施策の小項目名 | ○生涯スポーツの推進        |    |
| 主な取組     | 地域スポーツ活動・健康力向上事業                                       |                  |         | 実施計画記載頁           | 89 |
| 対応する主な課題 | ①県民の健康の保持増進に向けて、明るく活力に満ちた生きがいのある生涯スポーツ社会を実現することが必要である。 |                  |         |                   |    |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容   |                                 | 年度別計画                 |    |    |    |    |
|--|---------------------------------|-----------------------|----|----|----|----|
|  |                                 | 29                    | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 地域の健康増進及び体力の向上を図るため、県内の総合型地域スポーツクラブを活性化し、地域のスポーツ活動を推進する。 |                                 |                       |    |    |    |    |
| 実施主体   |                                 | 体力測定並びに個別プログラムによる教室開催 |    |    |    |    |
| 県  |                                 |                       |    |    |    |    |
| 担当部課【連絡先】  | 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】 |                       |    |    |    |    |

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

| 予算事業名      | 地域スポーツ活動・健康力向上事業 |          |          |          |          |            | H30年度  |            | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
|------------|------------------|----------|----------|----------|----------|------------|--------|------------|--|
| 主な財源       | 実施方法             | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |  |
| 一括交付金(ソフト) | 委託               | —        | —        | —        | —        | 27,966     | 20,265 | 一括交付金(ソフト) | ○H29年度: 健康・スポーツ教室等開催事業、スポーツ交流事業及び総合型クラブ活性化情報発信事業を実施し、総合型クラブの活性化を図った。<br>○H30年度: 引き続き、上記の事業を実施し、総合型クラブを活性化するための取組を強化する。 |
| 予算事業名      | —                |          |          |          |          |            | H30年度  |            | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
| 主な財源       | 実施方法             | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |  |
|            |                  |          |          |          |          |            |        |            | ○H29年度:<br>○H30年度:   |

様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 体力測定並びに個別プログラムによる教室開催 |       |       |       | H29年度  |        |             | H29年度<br>決算見込<br>額合計   | 進捗状況 | 活動概要   |
|--|-----------------------|-------|-------|-------|--------|--------|-------------|--|------|--|
| 実績値  | H25年度                 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B |  |      |  |
|  | —                     | —     | —     | —     | 実施     | —      | 100.0%      | 27,966   | 順調   | 健康・スポーツ教室等開催事業(実施クラブ数:5件)、スポーツ交流事業(実施クラブ数:1件)、スポーツクラブ活性化情報発信事業(メディア活用による紹介クラブ数:9件)、活性化会議(参加クラブ数:5件)等を実施し、総合型クラブの活性化を図った。 |
| 活動指標名  | —                     |       |       |       | H29年度  |        |             |  |      |  |
| 実績値  | H25年度                 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B |  |      |  |
|  | —                     | —     | —     | —     | —      | —      |             |  |      |  |
| 活動指標名  | —                     |       |       |       | H29年度  |        |             |  |      |  |
| 実績値  | H25年度                 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B |  |      |  |
|  | —                     | —     | —     | —     | —      | —      |             |  |      |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |                       |       |       |       |        |        |             |  |      |  |
| 平成29年度の取組改善案   |                       |       |       |       |        |        |             | 反映状況   |      |  |
| <p>①県内クラブ、企業、大学、及び自治体間で情報発信に関する勉強会をより多く開催するとともに、県外クラブとも連携を密にしなが、積極的に情報交換を行っていく。また、メディア媒体を利用し、認知向上活動を広い範囲で行う。</p> <p>②活動が弱いクラブに対して、県内クラブ間の交流、及び積極的な運営を行っているクラブからの派遣などを通じて、運営に必要なノウハウの習得を図る。</p> |                       |       |       |       |        |        |             | <p>①総合型クラブに係る専門家及び組織運営に係る専門家を活用し、クラブに対して広報宣伝の方法等について助言・指導を行うとともに、同専門家による情報発信に係るセミナーを開催した。また、メディア(テレビ番組)を活用し、総合型クラブを題材にしたコーナー(1回約5分)を制作して全6回放送した。</p> <p>②総合型クラブの運営について、クラブ間による意見交換や上記の専門家による助言・指導を行った。</p> |      |  |





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

・県内の総合型クラブの認知度は22.1%(H29速報値)であり、全国平均値の31.4%(H28)と比較すると低い状況にある。

##### ○外部環境の変化

・健康・スポーツ教室等開催事業において、各クラブの教室全12回のうち、後半になるにつれて参加者の数が減少する傾向にあった。  
・同事業において、事業期間中は教室参加費を無料としていたが、事業終了後は有料になったことから、継続して参加した参加者の割合が低くなる傾向にあった。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・総合型クラブの認知度について、事業実施クラブの教室開催支援、スポーツイベント開催、各種メディアを活用した情報発信等により認知度向上を図る必要がある。  
・事業期間中及び事業終了後も教室参加者が継続して参加できるように、実施方法等について改善を図る必要がある。



### 4 取組の改善案(Action)

- ・スポーツ交流事業において、大規模なスポーツイベントを開催することによって、同クラブの役割や活動の情報発信を強化する。
- ・スポーツクラブ活性化情報発信事業において、メディア(テレビ番組)を活用し、総合型クラブの紹介数を増やす。
- ・健康・スポーツ教室等開催事業において、教室開催回数や時期を検討する。
- ・同事業において、事業期間中も参加費の有料化を図る。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 国民体育大会選手派遣人数 |       |       |       | H29年度  |   |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況 | 活動概要  |
|--|--------------|-------|-------|-------|--------|---|-------------|----------------------|------|---|
| 実績値  | H25年度        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  | 322人         | 303人  | 263人  | 315人  | 318人   | 300人  | 100.0%      | 130,117              | 順調   | 本国内の予選大会である九州ブロック大会では、17競技27種別で代表権を獲得し、701人を派遣した。<br>国民体育大会に、318人、冬季大会に25人を派遣し、総合順位45位であった。 |
| 活動指標名  | —            |       |       |       | H29年度  |   |             |                      |      |   |
| 実績値  | H25年度        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  |              |       |       |       |        |   |             |                      |      | 進捗状況の判定根拠と取組の効果   |
| 活動指標名  | —            |       |       |       | H29年度  |   |             |                      |      |   |
| 実績値  | H25年度        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  |              |       |       |       |        |   |             |                      |      |   |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |              |       |       |       |        |   |             |                      |      |   |
| 平成29年度の取組改善案   |              |       |       |       |        | 反映状況  |             |                      |      |   |
| 国民体育大会男女総合順位30位台前半を達成するためには、H28年度に引き続き下記2点に取り組む必要がある。<br>①少年種別の継続的な強化支援<br>特に女子において国体入賞得点が得られていない状況である。県競技団体が中心となり中体連及び高体連、少年所属校それぞれとの事業計画、学校行事等を考慮することで選手強化環境が整備される。<br>②成年種別の「ふるさと選手制度」の積極的支援<br>加盟競技団体の会議等で、「ふるさと選手制度」の活用方法や手続き等の説明をおこない制度活用の促進につなげるとともに、競技力向上対策基本方針に「ふるさと選手制度活用促進事業」を新たに盛り込み、強化練習等に必要な旅費等の支援を行う。 |              |       |       |       |        | ①少年種別の継続的な強化支援については、中体連や高体連と連携を密にし、全国高校総体終了後から国民体育大会開催までの2カ月間において、選手の競技力が維持できるよう取り組むなど、少年種別の強化を図った。レスリング少年男子グレコローマン120kg級優勝、ハンドボール少年女子2位、ハンドボール少年男子となぎなた少年女子が入賞という成績を残した。<br>②「ふるさと選手制度」の活用については、沖縄県体育協会と連携し、各競技団体への活用促進を図ったことにより、20競技62名の制度活用があった。 |             |                      |      |   |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・平成23年度以降の成績は40位台と低迷しており、その要因として、本国体予選である九州ブロック大会での敗退、少年種別(中・高校生)の戦力不足、ふるさと選手制度の活用不足、指導者の養成と確保が追いついていないなどが考えられる。

#### ○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・少年種別については、全国的な活躍が多いことから、少年の所属校及び競技団体が連携した継続的な選手強化が必要である。一方、成年種別については、「ふるさと選手制度」を有効活用し派遣人数増となるよう、各競技団体からふるさと選手出場への働きかけを強化する必要がある。少年、成年それぞれの強化を取り組むことで国民体育大会等への選手派遣人数の増加が可能となる。

### 4 取組の改善案(Action)

・少年種別については、女子の国体入賞得点が得られていないため、各競技団体、中体連、高体連等と連携して取組を強化していく。成年種別については、加盟競技団体の会議等で「ふるさと選手制度」の活用方法や手続き等の説明を行い制度活用の促進に繋げるとともに、平成29年度から競技力向上対策基本方針に「ふるさと選手制度活用促進事業」と「県内大学支援」を盛り込み、引き続き、強化練習等に必要な旅費等の支援を行う。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | H29年度   |         |         |         | H29年度   |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況 | 活動概要   |
|--|---------|---------|---------|---------|---------|--|-------------|----------------------|------|--|
| 実績値  | H25年度   | H26年度   | H27年度   | H28年度   | 実績値(A)  | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
| 県民体育大会参加人数   | 12,000人 | 8,878人  | 9,721人  | 9,484人  | 10,117人 | 9,600人   | 100.0%      | 96,344               | 順調   | 活動概要<br>沖縄県体育協会の活動を支援することにより、競技力向上対策事業、県民体育大会、スポーツ少年団育成事業、スポーツ医・科学研究事業等を実施した。<br><br>進捗状況の判定根拠と取組の効果<br>県民体育大会については、実施要項により参加人数が定められていることから、毎年、10,000人前後となっている。<br>スポーツ少年団の育成については、県体育協会の啓発活動により、増加傾向にあることから「順調」とした。 |
| スポーツ少年団の育成   | 13,077人 | 12,986人 | 12,540人 | 12,704人 | 12,815人 | —  | 100.0%      |                      |      |  |
| —  |         |         |         |         |         |  |             |                      |      |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |         |         |         |         |         |  |             |                      |      |  |
| 平成29年度の取組改善案   |         |         |         |         |         | 反映状況   |             |                      |      |  |
| ①県民体育大会については、各自治体の予選の段階から、県・体育協会→各競技団体・各市郡→各自治体へ県民体育大会の関心を持たせるための広報活動を行うとともに、県体育協会主催の会議や研修会の場で大会のPRを行う。<br>②スポーツ少年団の育成に関しては、専門的に取り組んでいる県体育協会と連携し、指導者協議会のあり方、改善や有効的な広報活動の工夫に取り組むことやHP等での宣伝方法の改善を図っていく。<br>③競技力向上対策については、国体入賞種目数を前年度比増加することで、成果指標である国民体育大会男女総合順位を改善する。 |         |         |         |         |         | ①県民体育開会については、沖縄県体育協会のHPにより周知を行うとともに、県内マスコミ等を活用した広報活動を行った。<br>②スポーツ少年団の育成については、平成28年度から各スポーツクラブごとに複数の有資格指導者の登録を義務づけたことにより、スポーツ少年団有資格指導者数が、平成26年2,193人、平成27年2,449人、平成28年2,561人と増加傾向にある。<br>③競技力向上対策については、国民体育大会男女総合順位の改善を図るため、各競技団体に対し、アンケート調査とヒアリングを実施した。 |             |                      |      |  |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・競技スポーツを推進するため、国民体育大会における上位入賞者の育成に向けた、継続的な強化対策が必要である。また、県民の健康増進と体力の向上を図り、県民生活を明るく豊かにするため、県民体育大会の開催やスポーツ少年団の育成を推進する必要がある。

#### ○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県体育協会と連携し、これまで行ってきた競技力向上対策事業と国体競技での実績状況との関連及び各競技団体の実態状況も把握しながらより効果的な事業検証をする。県民体育大会については今後も継続実施するとともに、参加者拡大に向け取り組む必要がある。スポーツ少年団に関しても県民体育大会と同様な取り組みを行うほか、参加を促すためにも市町村との十分な連携とリーダー(中・高生)の養成に努める必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・県民体育大会については、参加者拡大のために広報活動の改善を図る。スポーツ少年団の育成に関しては、県体育協会と連携し、指導者協議会のあり方、改善や有効的な広報活動の工夫に取り組むことやHP等での宣伝方法の改善を図ることで参加者拡大を図る。競技力向上対策については、国体入賞種目数を前年度比増加することで、成果指標である国民体育大会男女総合順位を改善する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |   |                  |         |                   |    |
|----------|---|------------------|---------|-------------------|----|
| 施策展開     | 2-(1)-イ   | 「スポーツアイランド沖縄」の形成 | 施策      | ①生涯スポーツ・競技スポーツの振興 |    |
|          |   |                  | 施策の小項目名 | ○競技スポーツの推進        |    |
| 主な取組     | 競技力向上対策事業費  |                  |         | 実施計画記載頁           | 89 |
| 対応する主な課題 | ②沖縄県選手の競技力向上を図るために、小学校から社会人までの一貫した指導体制の充実や県外合宿、優秀な指導者の養成・確保を図るとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に多くの県出身選手が出場できるよう、国際大会等で活躍できる県内トップアスリートの育成強化を図る必要がある。 |                  |         |                   |    |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容  |                  | 年度別計画      |                |    |    |    |
|---|------------------|------------|----------------|----|----|----|
|   |                  | 29         | 30             | 31 | 32 | 33 |
| スポーツ医・科学を活用した各競技団体に対するサポートプログラム、県外チームを招待又は県外での強化試合、小学校から一般までの一貫指導を目指したシステム作り、コーチ等招聘、各競技団体が主体的に課題解決に向けた取り組みを展開する企画提案型競技力向上対策等の各種事業 |                  | 国民体育大会選手強化 |                |    |    |    |
|   |                  | トップレベル選手育成 |                |    |    |    |
|   |                  | 指導者育成      |                |    |    |    |
|   |                  | ジュニア強化対策   |                |    |    |    |
|   |                  | 駅伝競技強化     |                |    |    |    |
| 実施主体  | 県、関係団体           |            | スポーツ・医科学サポート   |    |    |    |
| 担当部課【連絡先】   | 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 |            | 【098-866-2708】 |    |    |    |

2 取組の状況(Do)

| (1)取組の進捗状況 |              |          |          |          |          |            | (単位:千円) |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画  |  |
|------------|--------------|----------|----------|----------|----------|------------|---------|------|---|--|
| 予算事業名      | 競技力維持・向上対策事業 |          |          |          |          |            | H30年度   |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画  |  |
| 主な財源       | 実施方法         | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額   | 主な財源 |   |  |
| 県単等        | 補助           | 48,290   | 64,961   | 53,628   | 51,785   | 53,433     | 56,288  | 県単等  | ○H29年度: 各競技団体の主体性を活かした企画提案型競技力向上対策等の各種対策を行った。<br>○H30年度: 各競技団体の主体性を活かした企画提案型競技力向上対策等の各種対策を行う。 |  |
| 予算事業名      | —            |          |          |          |          |            | H30年度   |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画  |  |
| 主な財源       | 実施方法         | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額   | 主な財源 |   |  |
|            |              |          |          |          |          |            |         |      | ○H29年度:<br>○H30年度:  |  |



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 国民体育大会選手強化  |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況 | 活動概要  |
|--|-------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|------|---|
| 実績値  | H25年度       | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  | —           | 801名  | 826名  | 833名  | 958名   | —  | 100.0%      | 53,433               | 順調   | スポーツ医・科学を活用した各競技団体に対するサポートプログラム、県外チームを招待又は県外での強化試合、小学校から一般までの一貫指導を目指したシステム作り、コーチ等招聘、各競技団体が主体的に課題解決に向けた取り組みを展開する企画提案型競技力向上対策等の各種事業を実施した。 |
| 活動指標名  | トップレベルの選手育成 |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |      |   |
| 実績値  | H25年度       | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  | —           | 18名   | 21名   | 24名   | 23名    | —  | 100.0%      |                      |      | 進捗状況の判定根拠と取組の効果   |
| 活動指標名  | 指導者育成       |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |      |   |
| 実績値  | H25年度       | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  | —           | 166名  | 177名  | 117名  | 124名   | —  | 95.0%       |                      |      |   |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |             |       |       |       |        |  |             |                      |      |   |
| 平成29年度の取組改善案   |             |       |       |       |        | 反映状況   |             |                      |      |   |
| <p>①少年種別の継続的な強化支援<br/>特に女子において国体入賞得点が得られていない状況である。県競技団体が中心となり中体連及び高体連、少年所属校それぞれとの事業計画、学校行事等を考慮することで選手強化の環境整備が図られる。</p> <p>②成年種別の「ふるさと選手制度」の積極的支援<br/>加盟競技団体の会議等で、「ふるさと選手制度」の活用方法や手続き等の説明をおこない制度活用の促進につなげるとともに、競技力向上対策基本方針に「ふるさと選手制度活用促進事業」を新たに盛り込み、強化練習等に必要な旅費等の支援を行う。</p> |             |       |       |       |        | <p>①少年種別の継続的な強化支援については、中体連や高体連と連携を密にし、全国高校総体終了後から国民体育大会開催までの2カ月間において、選手の競技力が維持できるよう取り組むなど、少年種別の強化を図った。</p> <p>②「ふるさと選手制度」の活用については、沖縄県体育協会と連携し、各競技団体への活用促進を図ったことにより、20競技62名の制度活用があった。</p> |             |                      |      |   |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・離島県であるため、県外合宿や指導者の確保にコストがかかる。  
・男女総合成績30位台を達成するために、九州ブロック代表権獲得数を増やすとともに、上位で獲得できる種別・種目を増やす必要がある。そのためには、少年種別(中・高校生)の強化は特に重要であり継続した選手強化が必要である。また、成年については、「ふるさと選手制度」を活用し得点に貢献する期待が持てる選手の確保が必要である。

#### ○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・成年に比べ全国的に活躍の多い少年種別については、少年の所属校及び競技団体が連携した継続的な選手強化が必要である。一方、成年種別については、「ふるさと選手制度」を有効活用し男女総合成績に貢献するよう、各競技団体からふるさと選手出場への働きかけを強化する必要がある。少年、成年それぞれの強化を取り組むことで男女総合成績30位台が可能となる。

### 4 取組の改善案(Action)

・少年種別については、女子の国体入賞得点が得られていないため、各競技団体、中体連、高体連等と連携して取組を強化していく。成年種別については、加盟競技団体の会議等で「ふるさと選手制度」の活用方法や手続き等の説明を行い制度活用の促進に繋げるとともに、平成29年度から競技力向上対策基本方針に「ふるさと選手制度活用促進事業」と「県内大学支援」を盛り込み、引き続き、強化練習等に必要な旅費等の支援を行う。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 県出身オリンピック・パラリンピックの選手育成 |       |       |       | H29年度  |   |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況   | 活動概要 |
|--|------------------------|-------|-------|-------|--------|---|-------------|----------------------|--------|------|
| 実績値  | H25年度                  | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |                        | —     | —     | 8名    | 23名    | 24名   | —           | 100.0%               | 11,492 | 順調   |
| 活動指標名  | —                      |       |       |       | H29年度  |   |             |                      |        |      |
| 実績値  | H25年度                  | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |                        |       |       |       |        |   |             |                      |        |      |
| 活動指標名  | —                      |       |       |       | H29年度  |   |             |                      |        |      |
| 実績値  | H25年度                  | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |                        |       |       |       |        |   |             |                      |        |      |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |                        |       |       |       |        |   |             |                      |        |      |
| 平成29年度の取組改善案   |                        |       |       |       |        | 反映状況  |             |                      |        |      |
| 沖縄県体育協会や県内競技団体との連携を密にするとともに、戦略検討委員会での検討を十分に行うことにより、県出身のNF指定選手への効果的な支援を図っていく。 |                        |       |       |       |        | 2020東京オリンピック・パラリンピック選手輩出戦略検討委員会の検討を踏まえ、県出身のNF指定選手に対し、競技力向上のための支援を行った。 |             |                      |        |      |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・より効果的な支援が行えるよう、県内競技団体との密な連携や2020東京オリンピック・パラリンピック選手輩出戦略検討委員会での十分な検討が必要である。

○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県内競技団体との密な連携や戦略検討委員会での十分な検討を行うことにより、県出身のNF指定選手への効果的な支援を行っていく必要がある。



### 4 取組の改善案(Action)

・沖縄県体育協会や県内競技団体等との連携を密にするとともに、戦略検討委員会での検討を十分に行うことにより、県出身NF指定選手への効果的な支援を図っていく。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |   |                  |         |                 |    |
|----------|---|------------------|---------|-----------------|----|
| 施策展開     | 2-(1)-イ   | 「スポーツアイランド沖縄」の形成 | 施策      | ②スポーツコンベンションの推進 |    |
|          |   |                  | 施策の小項目名 | ○スポーツコンベンションの推進 |    |
| 主な取組     | スポーツコンベンション誘致事業                                     |                  |         | 実施計画記載頁         | 90 |
| 対応する主な課題 | ③県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。 |                  |         |                 |    |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容   |  | 年度別計画                           |    |    |    |    |
|--|--|---------------------------------|----|----|----|----|
|  |  | 29                              | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する。 |  | 45件                             |    |    |    |    |
| 実施主体   |  | 県、市町村                           |    |    |    |    |
| 担当部課【連絡先】  |  | 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】 |    |    |    |    |
|  |  | スポーツコンベンションの歓迎の機運醸成等            |    |    |    |    |

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

| 予算事業名 | スポーツコンベンション振興対策費 |              |              |              |              |                | H30年度  |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画  |
|-------|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------|------|---|
| 主な財源  | 実施方法             | H25年度<br>決算額 | H26年度<br>決算額 | H27年度<br>決算額 | H28年度<br>決算額 | H29年度<br>決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源 |   |
| 県単等   | 委託               | 5,904        | 5,994        | 8,778        | 13,489       | 4,470          | 19,968 | 県単等  | ○H29年度: 沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対して地域特産品の贈呈やスポーツコンベンションの機運醸成等を図った。<br>○H30年度: 沖縄県でキャンプを実施するプロスポーツチーム等に対して地域特産品の贈呈やスポーツコンベンションの機運醸成等を図る。 |
| 予算事業名 | —                |              |              |              |              |                | H30年度  |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画  |
| 主な財源  | 実施方法             | H25年度<br>決算額 | H26年度<br>決算額 | H27年度<br>決算額 | H28年度<br>決算額 | H29年度<br>決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源 |   |
|       |                  |              |              |              |              |                |        |      | ○H29年度:<br>○H30年度:  |

様式1(主な取組)

| 活動指標名   | 歓迎支援件数 |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況  | 活動概要 |
|---|--------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|-------|------|
| 実績値   | H25年度  | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |       |      |
|   |        | 7     | 14    | 35    | 47     | 41   | 45          | 91.1%                | 4,470 | 順調   |
| 活動指標名   | —      |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |       |      |
| 実績値   | H25年度  | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |       |      |
|   |        |       |       |       |        |  |             |                      |       |      |
| 活動指標名   | —      |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |       |      |
| 実績値   | H25年度  | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |       |      |
|   |        |       |       |       |        |  |             |                      |       |      |
| (2)これまでの改善案の反映状況  |        |       |       |       |        |  |             |                      |       |      |
| 平成29年度の取組改善案  |        |       |       |       |        | 反映状況   |             |                      |       |      |
| <p>①他の都道府県とは異なる沖縄県の優位性を各種スポーツごとに整理し、ポイントを絞ったPRを行う。</p> <p>②スポーツコンベンション主催者やその他関係団体等との連携を強化し、スポーツコンベンションへの参加を促す効果的なPRを行う。</p> |        |       |       |       |        | <p>①②一括交付金を活用した「スポーツ観光誘客促進事業」において、沖縄県の優位性について整理し、スポーツコンベンション主催者やその他関係団体等との連携を強化し、スポーツ環境のPRを実施した。</p> |             |                      |       |      |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・スポーツコンベンションの件数及び参加人数が増加傾向にあるなかで、すべてに対して歓迎支援等を実施することはできないため、実施対象の範囲を検討する必要がある。

○外部環境の変化

・スポーツコンベンションの誘致について、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて他の都道府県との間で競争が激しくなっている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・PR効果等を踏まえ、スポーツコンベンションに対する歓迎支援の内容及び対象を検討する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・受入市町村と競技団体との連携の下で、スポーツコンベンションの誘致・受入を推進する「スポーツコミッション沖縄」を中心として、スポーツコンベンションの受入市町村や関係競技団体等と連携し、小規模なスポーツコンベンションの歓迎支援は受入市町村が行う等の役割分担を図る。



様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |   |                  |         |                 |    |
|----------|---|------------------|---------|-----------------|----|
| 施策展開     | 2-(1)-イ   | 「スポーツアイランド沖縄」の形成 | 施策      | ②スポーツコンベンションの推進 |    |
|          |   |                  | 施策の小項目名 | ○スポーツコンベンションの推進 |    |
| 主な取組     | スポーツ観光誘客促進事業  |                  |         | 実施計画記載頁         | 90 |
| 対応する主な課題 | ③県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。 |                  |         |                 |    |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容  |                                 | 年度別計画          |    |    |    |    |
|---|---------------------------------|----------------|----|----|----|----|
|   |                                 | 29             | 30 | 31 | 32 | 33 |
| マラソン大会、サイクリングイベントなど沖縄のスポーツイベント及びスポーツ環境の 프로모ーション等を行うことで県外・海外からの誘客を図り、県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出を図る。 |                                 |                |    |    |    |    |
| 実施主体  |                                 | スポーツ観光のプロモーション |    |    |    |    |
| 県   |                                 |                |    |    |    |    |
| 担当部課【連絡先】   | 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】 |                |    |    |    |    |

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

| 予算事業名      | スポーツ観光誘客促進事業 |          |          |          |          |            | H30年度  |            | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
|------------|--------------|----------|----------|----------|----------|------------|--------|------------|--|
| 主な財源       | 実施方法         | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |  |
| 一括交付金(ソフト) | 委託           | 200,367  | 130,662  | 130,588  | 135,474  | 91,704     | 68,451 | 一括交付金(ソフト) | ○H29年度: 県外のマラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展等により、沖縄県へのスポーツ旅行に係るプロモーションを実施した。<br>○H30年度: 県外のマラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展等により、沖縄県へのスポーツ旅行に係るプロモーションを実施する。 |
| 予算事業名      | —            |          |          |          |          |            | H30年度  |            | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
| 主な財源       | 実施方法         | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |  |
|            |              |          |          |          |          |            |        |            | ○H29年度:<br>○H30年度:   |

様式1(主な取組)

| 活動指標名  | スポーツ観光のプロモーション |       |       |       | H29年度      |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況 | 活動概要   |
|--|----------------|-------|-------|-------|------------|--|-------------|----------------------|------|--|
| 実績値  | H25年度          | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A)     | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|  | —              | —     | —     | —     | プロモーションの実施 | —  | 100%        | 91,704               | 順調   | マラソン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展や、県外・海外の見本市への出展等により、沖縄県へのスポーツ旅行に係る誘客プロモーションを実施した。  |
| 活動指標名  | —              |       |       |       | H29年度      |  |             |                      |      |  |
| 実績値  |                |       |       |       |            |  |             |                      |      |  |
| 活動指標名  | —              |       |       |       | H29年度      |  |             |                      |      |  |
| 実績値  |                |       |       |       |            |  |             |                      |      | 進捗状況の判定根拠と取組の効果<br>沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着及び観光誘客を促進するため、マラソン・サイクリング・ゴルフを重点種目として、主催者や関係者と連携し、プロモーション等を実施した。<br>また、地域における観光資源としてライトスポーツを活用した、ビーチヨガ、ポタリング、SUP等の気軽に楽しめるスポーツアクティビティのプロモーションを実施した。 |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |                |       |       |       |            |  |             |                      |      |  |
| 平成29年度の取組改善案   |                |       |       |       |            | 反映状況   |             |                      |      |  |
| <p>スポーツイベントや見本市におけるプロモーションでは、誘客を図るだけでなく、受入窓口がわかりやすい誘客ツールの制作や、県内イベント事業者や地域の観光協会と協力し、受入環境の確認を行いながら県外、海外へのプロモーション活動を実施する。</p> |                |       |       |       |            | <p>スポーツ旅のパンフレット等には、観光協会等の受入窓口情報を掲載し、旅行者の利便性を意識した誘客ツールを制作した。また、県内マラソン大会事務局やホテルの担当者と連携し、県外・海外でのプロモーションを実施することができた。</p> |             |                      |      |  |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・県内のスポーツイベントは、今後海外からの参加者の増加が見込まれるが、小規模のスポーツイベント等では、インバウンド受入体制が整っていないこともあるため、事前にイベント主催者とコーディネーター(旅行会社等)との調整が必要である。

○外部環境の変化

・平成30年度に日本を目的地とするゴルフツアー商談会が日本で初めて実施されることから、国内の競合地域に遅れをとることなく、沖縄への誘客に取り組む必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・県内ゴルフ場の外需獲得に向けて、外国人ゴルフ愛好家の積極的な誘致・受入が必要。

### 4 取組の改善案(Action)

・日本を目的地とするゴルフツアー商談会への出展により、欧米のバイヤーに対するPRを行い、ゴルフデスティネーションとしての沖縄の知名度向上及び誘客を図る。また、イベント主催者や受入施設と連携しながら誘客に取り組む。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | スポーツツーリズムモデル事業の実施、定着化促進、新規開拓 |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況   | 活動概要 |
|--|------------------------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|--------|------|
| 実績値  | H25年度                        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |                              | 10    | 7     | 8     | 6      | 6  | 3           | 100.0%               | 62,668 | 順調   |
| 活動指標名  | —                            |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |        |      |
| 実績値  | H25年度                        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |                              |       |       |       |        |  |             |                      |        |      |
| 活動指標名  | —                            |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |        |      |
| 実績値  | H25年度                        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |                              |       |       |       |        |  |             |                      |        |      |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |                              |       |       |       |        |  |             |                      |        |      |
| 平成29年度の取組改善案   |                              |       |       |       |        | 反映状況   |             |                      |        |      |
| <p>① 既存イベントについて、県外・海外からの誘客の増加を見据えた取組に対して自走化に向けた支援を行う。</p> <p>② 県外・海外からの誘客が見込める国際スポーツ大会等に対して、新たに支援枠を設定する。</p> |                              |       |       |       |        | <p>① 拡充枠で支援した1事業者は自走化することができたが、自走化に向けた支援は十分ではない状況である。</p> <p>② 国際スポーツ大会等支援枠として「世界空手連盟シリーズA大会」開催を支援し、60の国と地域から654名の選手が参加し、約2,600人の誘客があった。</p> |             |                      |        |      |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・スポーツイベントの定着を図るうえで、市町村や競技団体、観光関係業者等との連携を図る必要がある。

#### ○外部環境の変化

・スポーツイベントの参加者にとって、沖縄で開催するイベントの魅力をいかに構築できるかに留意する必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・自走化に向け、より密度の濃いアドバイザー支援を行っていく必要がある。  
・スポーツツーリズムに対する理解を深め、受入体制を一層強化する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・平成30年度は採択件数を絞り込み、競技団体等とのマッチング、旅行社等専門人材の紹介、イベント開催のノウハウについての講習会等のアドバイザー支援を行う。  
・県外・海外からの誘客が見込める国際スポーツ大会等に対して、支援件数を増やし、更なる誘客を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |   |                  |         |                 |    |
|----------|---|------------------|---------|-----------------|----|
| 施策展開     | 2-(1)-イ   | 「スポーツアイランド沖縄」の形成 | 施策      | ②スポーツコンベンションの推進 |    |
|          |   |                  | 施策の小項目名 | ○スポーツコンベンションの推進 |    |
| 主な取組     | スポーツコミッション沖縄体制整備事業  |                  |         | 実施計画記載頁         | 90 |
| 対応する主な課題 | ④沖縄のスポーツ環境の認知度を高めるため、効果的な情報発信、チーム・団体の円滑な受入を行うワンストップ機能を持った「スポーツコミッション沖縄」を強化するとともに、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会後も見据え、国内外へ沖縄県の充実したスポーツ環境の発信や事前合宿の誘致を更に図っていく必要がある。 |                  |         |                 |    |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容   |  | 年度別計画                           |    |    |    |    |
|--|--|---------------------------------|----|----|----|----|
|  |  | 29                              | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 各種スポーツキャンプ・合宿等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツを目的とした来訪者の利便性向上のための受入体制整備を行い、スポーツアイランド沖縄の認知度向上と誘客拡充を図る。 |  |                                 |    |    |    |    |
| 実施主体   |  | 県、市町村、関係団体                      |    |    |    |    |
| 担当部課【連絡先】  |  | 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】 |    |    |    |    |
|  |  | ワンストップ化によるスポーツ観光の受入支援           |    |    |    |    |
|  |  | 国内外代表チーム、社会人、学生等のスポーツ合宿誘致       |    |    |    |    |

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

| 予算事業名      | スポーツコミッション沖縄体制整備事業 |          |          |          |          |            | H30年度  |            | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
|------------|--------------------|----------|----------|----------|----------|------------|--------|------------|--|
| 主な財源       | 実施方法               | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |  |
| 一括交付金(ソフト) | 補助                 | 15,487   | 44,915   | 40,150   | 35,286   | 43,000     | 37,410 | 一括交付金(ソフト) | ○H29年度: 沖縄県体育協会に設置した「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る各種相談対応及び誘致活動を実施した。<br>○H30年度: 沖縄県体育協会に設置した「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る各種相談対応及び誘致活動を実施する。 |
| 予算事業名      | —                  |          |          |          |          |            | H30年度  |            | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
| 主な財源       | 実施方法               | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |  |
|            |                    |          |          |          |          |            |        |            | ○H29年度:<br>○H30年度:   |

様式1(主な取組)

| 活動指標名  | ワンストップ化によるスポーツ観光の受入支援 |       |       |       | H29年度     |   |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況 | 活動概要  |
|--|-----------------------|-------|-------|-------|-----------|---|-------------|----------------------|------|---|
| 実績値  | H25年度                 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A)    | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  | —                     | —     | —     | —     | 受入相談対応の実施 | —   | 100%        | 43,000               | 順調   | 各種スポーツキャンプ・合宿等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る各種相談対応及び誘致活動を実施した。   |
| 活動指標名  | 国内外代表チーム、学生等のスポーツ合宿誘致 |       |       |       | H29年度     |   |             |                      |      |   |
| 実績値  | H25年度                 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A)    | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  | —                     | —     | —     | —     | 合宿誘致活動の実施 | —   | 100%        |                      |      | 進捗状況の判定根拠と取組の効果   |
| 活動指標名  | —                     |       |       |       | H29年度     |   |             |                      |      | 各種スポーツキャンプ・合宿等の誘致・受入を行うワンストップ窓口として、スポーツコンベンション実施に係る各種相談対応を実施し、スポーツを目的とした来訪者の利便性向上を図ることができた。<br>また、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、国内外代表チーム等の合宿誘致活動を実施した。 |
| 実績値  | H25年度                 | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A)    | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|  |                       |       |       |       |           |   |             |                      |      |   |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |                       |       |       |       |           |   |             |                      |      |   |
| 平成29年度の取組改善案   |                       |       |       |       |           | 反映状況  |             |                      |      |   |
| <p>①受入市町村のスポーツ施設的环境整備の向上を促進するため、スポーツコミッション沖縄を通じてスポーツ施設整備に係るアドバイザーを派遣するなど、受入体制の強化を図る取組を展開していく。</p> <p>②県内スポーツ施設等の調査を実施するとともに、当該データを有効に活用するためのデータベースの構築を図る。</p> <p>③海外からの問い合わせに迅速に対応するため、多言語に対応できる人材を確保する。</p> |                       |       |       |       |           | <p>①スポーツコミッション沖縄を通じたスポーツ施設整備に係るアドバイザー派遣を7件実施し、受入市町村のスポーツ施設環境整備の向上を図った。</p> <p>②県内スポーツ施設等の調査を実施し、スポーツコミッション沖縄のWEBサイトに掲載した。</p> <p>③多言語に対応できる人材を確保し、海外からの問い合わせに迅速に対応した。</p> |             |                      |      |   |





## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・スポーツコンベンションを拡大発展させるためには、受入市町村との連携が重要となる。

○外部環境の変化

・東京オリンピック・パラリンピックに向けて、海外から合宿実施に関する問い合わせが多くなっている。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・スポーツコンベンション実施に関する相談件数は年々増加しており、なかでも海外団体に関わる問い合わせが多くなっていることから、迅速かつ適切な対応が必要となっている。

### 4 取組の改善案(Action)

・引き続き多言語に対応できる人材を確保するとともに、スポーツコミッション沖縄のWEBサイトの多言語化を行う。また受入市町村と連携し、施設情報等の提供について迅速に対応する。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |   |                  |         |                 |    |
|----------|---|------------------|---------|-----------------|----|
| 施策展開     | 2-(1)-イ   | 「スポーツアイランド沖縄」の形成 | 施策      | ②スポーツコンベンションの推進 |    |
|          |   |                  | 施策の小項目名 | ○スポーツコンベンションの推進 |    |
| 主な取組     | 日本代表強化合宿拠点事業  |                  |         | 実施計画記載頁         | 90 |
| 対応する主な課題 | ③県民のスポーツに触れる機会(観る、参加する)の創出のため、スポーツコンベンションの誘致が必要である。 |                  |         |                 |    |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容  |                                 | 年度別計画    |    |    |    |    |
|---|---------------------------------|----------|----|----|----|----|
|   |                                 | 29       | 30 | 31 | 32 | 33 |
| 中央競技団体とつながりの深い県内競技団体を通して、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を見据えた、国内ナショナルチームの強化合宿等を招致し、沖縄県をオリンピック・パラリンピック競技の強化拠点の地として誘客活動をおこなう。 |                                 | 誘致件数3件   |    |    |    |    |
|   |                                 | 日本代表合宿誘致 |    |    |    |    |
| 実施主体  | 県、関係団体                          | 招聘件数3件   |    |    |    |    |
| 担当部課【連絡先】   | 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 【098-866-2708】 | コーチ招聘    |    |    |    |    |

2 取組の状況(Do)

| (1)取組の進捗状況 |              |          |          |          |          |            | (単位:千円) |      |  |
|------------|--------------|----------|----------|----------|----------|------------|---------|------|--|
| 予算事業名      | 日本代表強化合宿拠点事業 |          |          |          |          |            | H30年度   |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
| 主な財源       | 実施方法         | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額   | 主な財源 |  |
| 県単等        | 委託           | —        | —        | 14,645   | 14,169   | 13,211     | —       |      | ○H29年度: 2020年東京オリ・パラにおける各国の事前合宿の拠点とするために、県内競技団体を通して、国内ナショナルチームの強化合宿等を招致した。<br>○H30年度:— |
| 予算事業名      | —            |          |          |          |          |            | H30年度   |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画   |
| 主な財源       | 実施方法         | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額   | 主な財源 |  |
|            |              |          |          |          |          |            |         |      | ○H29年度:<br>○H30年度:   |

様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 日本代表合宿誘致 |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況   | 活動概要 |
|--|----------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|--------|------|
| 実績値  | H25年度    | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |          | —     | —     | 3件    | 2件     | 3件   | 3件          | 100.0%               | 13,211 | 順調   |
| 活動指標名  | コーチ招聘    |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |        |      |
| 実績値  | H25年度    | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  | —        | —     | 3件    | 3件    | 3件     | 3件   | 100.0%      |                      |        |      |
| 活動指標名  | —        |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |        |      |
| 実績値  | H25年度    | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |        |      |
|  |          |       |       |       |        |  |             |                      |        |      |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |          |       |       |       |        |  |             |                      |        |      |
| 平成29年度の取組改善案   |          |       |       |       |        | 反映状況   |             |                      |        |      |
| <p>①事業実施に当たっては、引き続き県内競技団体の者で中央競技団体と繋がりのある人材資源の把握に努め、合宿件数増を目指すとともに、受入市町村及び県内競技団体との連携をとって合宿時の課題把握・改善に努め、円滑な事業運営の支援を行う。</p> |          |       |       |       |        | <p>①実施に当たっては県内競技団体で中央競技団体と繋がりのある人材資源の把握に努めるとともに、受入市町村及び県内競技団体との密な連絡体制を図った。</p> |             |                      |        |      |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### ○内部要因

・本事業は県内競技団体を統轄する(公財)沖縄県体育協会へ委託を行っており、受入市町村及び県内競技団体との連絡調整を行う必要がある。

#### ○外部環境の変化

・2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、全国各地でスポーツキャンプ誘致競争が一層激しさを増してきている。今後、各県において激化すると予想され、本県においても合宿誘致について特色を示す必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・2020年東京オリンピック・パラリンピックが3年後と迫り、全国各地でスポーツキャンプ誘致競争が一層激しさを増してきている。今後、各県において激化すると予想され、本県においても合宿誘致について特色を示す必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・当該事業は終了したが、2020東京オリンピック・パラリンピック大会が2年後に迫り、全国各地でスポーツキャンプ誘致競争が一層激しさを増してきているため、合宿誘致については本県の特色を示す必要があり、今後は、一括交付金を活用した「スポーツツーリズム戦略推進事業」において、各種スポーツキャンプ・合宿等の誘致を図り誘客活動を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |  |                  |         |                     |    |
|----------|--|------------------|---------|---------------------|----|
| 施策展開     | 2-(1)-イ  | 「スポーツアイランド沖縄」の形成 | 施策      | ③スポーツ・レクリエーション環境の整備 |    |
|          |  |                  | 施策の小項目名 | ○社会体育施設の整備          |    |
| 主な取組     | 社会体育施設管理運営費  |                  |         | 実施計画記載頁             | 90 |
| 対応する主な課題 | ⑤生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。 |                  |         |                     |    |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容  |                  | 年度別計画           |    |           |    |      |
|---|------------------|-----------------|----|-----------|----|------|
|   |                  | 29              | 30 | 31        | 32 | 33   |
| 県民が心身共に健康でいきいきとした生活を送ることができるような生涯スポーツ社会の実現と競技スポーツの振興を図るために、奥武山総合運動場の適切な整備・充実及び管理・運営を行う。 |                  | 22万人 県立武道館利用者数  |    |           |    | 23万人 |
|   |                  | 45万人 その他施設の利用者数 |    |           |    | 54万人 |
| 実施主体  | 県                |                 |    |           |    |      |
| 担当部課【連絡先】   | 文化観光スポーツ部スポーツ振興課 | 【098-866-2708】  |    | 県立武道館等の管理 |    |      |

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

| 予算事業名       |      |          |          |          |          |            | H30年度   |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画  |
|-------------|------|----------|----------|----------|----------|------------|---------|------|---|
| 社会体育施設管理運営費 |      |          |          |          |          |            |         |      |   |
| 主な財源        | 実施方法 | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額   | 主な財源 |   |
| 県単等         | 委託   | 187,000  | 192,342  | 187,000  | 187,000  | 187,000    | 187,000 | 県単等  | ○H29年度: 奥武山総合運動場(公の施設)の管理運営を、指定管理者へ行わせることにより、施設の適正な管理運営を効率的かつ効果的に行った。<br>○H30年度: 奥武山総合運動場(公の施設)の管理運営を、引き続き指定管理者へ行わせることにより、県民へのサービス向上を図りつつ施設の適正な管理運営を行う。 |
| 予算事業名       |      |          |          |          |          |            | H30年度   |      | 平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画  |
| —           |      |          |          |          |          |            |         |      |   |
| 主な財源        | 実施方法 | H25年度決算額 | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算見込額 | 当初予算額   | 主な財源 |   |
| —           | —    | —        | —        | —        | —        | —          | —       | —    | ○H29年度: —<br>○H30年度: —  |

様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 県立武道館利用者数  |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況    | 活動概要   |
|--|------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|---------|--|
| 実績値  | H25年度      | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |         |  |
|  |            | 21万人  | 22万人  | 22万人  | 24万人   | 23万人   | 22万人        | 100.0%               | 187,000 | 順調   |
| 活動指標名  | その他施設の利用者数 |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |         |  |
| 実績値  | H25年度      | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |         |  |
|  | 33万人       | 34万人  | 44万人  | 50万人  | 40万人   | 45万人   | 88.9%       | 進捗状況の判定根拠と取組の効果      |         |  |
|  | —          | —     | —     | —     | —      | —  | —           |                      |         | イベント開催等により、武道館利用者において計画値22万人に対し実績値23万人、その他施設の利用者数において計画値45万人に対し実績値40万人となり、各施設ともに稼働率は順調に推移している。また、武道館音響設備や非常放送設備を改修することにより、快適で安全な施設提供が図られている。 |
| 活動指標名  | —          |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |         |  |
| 実績値  | H25年度      | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |         |  |
|  | —          | —     | —     | —     | —      | —  | —           |                      |         |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |            |       |       |       |        |  |             |                      |         |  |
| 平成29年度の取組改善案   |            |       |       |       |        | 反映状況   |             |                      |         |  |
| <p>①多様な利用状況に対応できるよう、指定管理者や関係団体等との調整を十分に行い、利用者の利便向上を図っていく。</p> <p>②利用者の安全が確保できるよう、施設の計画的な整備を行うとともに、危機管理マニュアルに基づく防災訓練等の効果的な実施を図っていく。</p> |            |       |       |       |        | <p>①多様な利用状況に対応できるよう、指定管理者や関係団体等との調整を十分に行い、利用者の利便向上を図った。</p> <p>②利用者の安全を確保するため、危機管理マニュアルに基づき、広域津波避難訓練などを実施するとともに、武道館音響設備改修工事等の施設整備を行った。</p> |             |                      |         |  |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・利用者の安全確保を図るため、施設の老朽化等の状況をチェックし、施設の計画的な改修を図るとともに、定期的に防災訓練を実施する必要がある。  
・多様な利用状況に対応するため(合宿やプロ野球キャンプ、大会開催等)、指定管理者や関係団体等との連携を密に図る必要がある。

○外部環境の変化

・台風等の自然災害や事件・事故等に対する利用者の安全確保が図られるよう、危機管理体制を十分に行う必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・多様な利用状況に対応できるよう指定管理者や関係団体等との密な調整を行うとともに、利用者の安全確保が図れるよう、危機管理マニュアルに基づく防災訓練等を定期的実施する必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・多様な利用状況に対応できるよう、指定管理者や関係団体等との調整を十分に行い、利用者の利便性向上を図っていく。

・利用者の安全が確保できるよう、施設の計画的な整備を行うとともに、危機管理マニュアルの習得の徹底や危機管理マニュアルに基づく防災訓練等の効果的な実施を図っていく。





様式1(主な取組)

| 活動指標名   | 県立武道館等の改修・整備 |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計   | 進捗状況    | 活動概要 |
|---|--------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|--|---------|------|
| 実績値   | H25年度        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)                                   | 達成割合<br>A/B |  |         |      |
|   |              | —     | —     | —     | —      | 実施                                       | —           | 100.0%   | 237,573 | 順調   |
| 活動指標名   | —            |       |       |       | H29年度  |  |             |  |         |      |
| 実績値   | H25年度        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)                                   | 達成割合<br>A/B |  |         |      |
|   | —            | —     | —     | —     | —      | —  |             | 進捗状況の判定根拠と取組の効果<br><br>施設の整備・改修について計画的に行えるよう、施設管理者や利用者の意見も踏まえ整備計画を作成するとともに、施設管理者において施設整備や施設使用に係る安全面等の対策を実施し環境の充実を図ることができた。 |         |      |
| 活動指標名   | —            |       |       |       | H29年度  |  |             |  |         |      |
| 実績値   | H25年度        | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)                                   | 達成割合<br>A/B |  |         |      |
|   | —            | —     | —     | —     | —      | —  |             |  |         |      |
| (2)これまでの改善案の反映状況  |              |       |       |       |        |  |             |  |         |      |
| 平成29年度の取組改善案  |              |       |       |       |        | 反映状況                                     |             |  |         |      |
| ①施設の新設や改修等の整備は、多額の費用と長期の時間を費やすことから、平成32年度の九州ブロック国体に向け、県体育協会や各競技団体等との意見交換等を行い計画的な整備を行っていく。 |              |       |       |       |        | ①利用者や施設管理者の意見を踏まえ、優先すべき施設整備を計画的、段階的に行った。 |             |  |         |      |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・利用者層の変化や各大会等の開催に対応するため、施設・設備を整備する必要がある。

○外部環境の変化

・台風等の自然災害による予期しない施設の損傷や修繕等により、施設を閉鎖する可能性がある。安全対策を含め、利用者に対する対応を行う必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・老朽化が進んでいる施設があることや、平成32年度に九州ブロック国体が控えていることから、計画的な施設整備を行う必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・施設の新設や改修等の整備は、多額の費用と長期の時間を費やすことから、平成32年度の九州ブロック国体に向け、引き続き県体育協会や各競技団体等との意見交換等を行い計画的な整備を行っていく。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 漕艇庫・ボート等の管理 |       |       |       | H29年度  |  |             | H29年度<br>決算見込額<br>合計 | 進捗状況 | 活動概要   |
|--|-------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|------|--|
| 実績値  | H25年度       | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)                                     | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|  | —           | —     | —     | —     | 実施     | —  | 100.0%      | 560                  | 順調   | ボート競技の競技力向上に向け、漕艇庫(電気設備、水道、浄化槽)の維持管理や備品(ボート、櫂(オール)等)の保管を行い、安全で快適な環境整備を行った。 |
| 活動指標名  | —           |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |      |  |
| 実績値  | H25年度       | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)                                     | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|  | —           | —     | —     | —     | —      | —  |             |                      |      | 進捗状況の判定根拠と取組の効果  |
|  |             |       |       |       |        |  |             |                      |      | 漕艇庫、ボート等の維持管理を行い、安全で快適な環境を整え競技力向上に向けた取組を行うことができた。                          |
| 活動指標名  | —           |       |       |       | H29年度  |  |             |                      |      |  |
| 実績値  | H25年度       | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A) | 計画値(B)                                     | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|  | —           | —     | —     | —     | —      | —  |             |                      |      |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |             |       |       |       |        |  |             |                      |      |  |
| 平成29年度 of 取組改善案  |             |       |       |       |        | 反映状況                                       |             |                      |      |  |
| ①定期点検はもとより、台風等の自然災害後は、早期に現場確認を行い、不具合等の早期発見・修復を実施する等の維持管理を行い、長期的に施設・備品が活用できるよう取り組む。 |             |       |       |       |        | ①長期的に施設・備品が活用できるよう、不具合等の早期発見・修復、定期点検等を行った。 |             |                      |      |  |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・老朽化などにより、大規模改修を行うことになれば、多額の経費が必要になる。

○外部環境の変化

・台風等の自然災害後は、早期に現場確認を行い早期修繕を行う必要がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・定期的な点検を行うとともに、不具合箇所の早期発見・修復を行い、大規模改修等にならないよう管理を行う必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・定期点検はもとより、台風等の自然災害後は、早期に現場確認を行い、不具合等の早期発見・修復を実施する等の維持管理を行い、長期的に施設・備品が活用できるよう取り組む。



様式1(主な取組)

| 活動指標名   | 基本計画策定・課題整理 |       |       |       | H29年度              |  |             | H29年度<br>決算見込<br>額合計 | 進捗状況 | 活動概要  |
|---|-------------|-------|-------|-------|--------------------|--|-------------|----------------------|------|---|
| 実績値   | H25年度       | H26年度 | H27年度 | H28年度 | 実績値(A)             | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |   |
|   | —           | —     | —     | —     | 基本計画策<br>定<br>課題整理 | —  | 100.0%      | 30,900               | 順調   | <p>活動概要</p> <p>平成28年11月より基本計画の策定に着手。平成29年8月4日までに全6回の委員会を開催し、スタジアムの規模や複合機能のあり方、導入機能等について検討を行い、「Jリーグ規格スタジアム整備基本計画」を策定した。<br/>基本計画策定後は、基本計画で示された課題への対応について検討を行った。</p> <p>進捗状況の判定根拠と取組の効果</p> <p>有識者等で構成する検討委員会の開催や、関係者との調整等を踏まえ、当初計画どおり、基本計画を策定することが出来た。<br/>基本計画策定後は、基本計画で示された課題への対応について検討を行った。</p> |
| 活動指標名   | —           |       |       |       | H29年度              |  |             |                      |      |   |
| 実績値   |             |       |       |       |                    |  |             |                      |      |   |
| 活動指標名   | —           |       |       |       | H29年度              |  |             |                      |      |   |
| 実績値   |             |       |       |       |                    |  |             |                      |      |   |
| (2)これまでの改善案の反映状況  |             |       |       |       |                    |  |             |                      |      |   |
| 平成29年度の取組改善案  |             |       |       |       |                    | 反映状況   |             |                      |      |   |
| <p>①Jリーグ規格スタジアム整備については、県と那覇市で連携して取り組んでいく必要があることから、スタジアム整備のあり方等について、引き続き協議を行う。</p> |             |       |       |       |                    | <p>①スタジアム整備は、県全体の観光振興やスポーツ振興等に資するものであることから、平成28年11月より基本計画の策定に着手した。平成29年8月までに全6回の委員会を開催し、スタジアムの規模や複合機能のあり方、導入機能等について検討を行い、「Jリーグ規格スタジアム整備基本計画」を策定した。</p> |             |                      |      |   |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・平成29年8月までに全6回の委員会を開催し、スタジアムの規模や複合機能のあり方、導入機能等について検討を行い、「Jリーグ規格スタジアム整備基本計画」を策定した。

○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・スタジアム整備を進めていくためには、平成29年8月に策定した基本計画において示された課題について対応していく必要がある。



### 4 取組の改善案(Action)

・平成29年8月に策定した基本計画において示された課題について検討を行うため、平成30年度において調査事業を行う。